



伝統工芸品など福井の独自商品をPRする  
県ブース11日、東京都江東区の東京ピッ  
クサイト

## 福井の伝統技術、モノPR

「東京ギフトショー」開幕

### 県内30企業・団体が出展

国内最大規模の生活雑貨見本市「第83回東京インターナショナル・ギフト・ショーLIFE×DESIGN」は1日、東京都江東区の東京ピクサイトで始まった。県内からは越前漆器や越前焼、若狭塗箸など約30の企業・団体が出展し、独自の加工技術やデザインを生かしたオリジナル商品をアピールしている。3日まで。

福井の地場産業をPRする県ブースには、越前打刃物や越前焼など15企業・団体

が出展。越前筆筒の小柳筆筒（越前市）は、指し物の技術を生かした木の名刺入れやiPhone（ 아이폰）用の木製スピーカーを提案。伝統工芸士の小柳範和さんは「高い技術力をまずは身近に感じてほしい」と売り込んだ。

越前漆器の曾明漆器店（鯖江市）のターゲットは女性。ケヤキの皮や貝殻に、沈金や螺鈿技法を用いたペンダントやブローチ、唐草模様が入った角皿や取り皿を並べた。丸

岡フアインテックス協同組合（坂井市）は越前織で作ったブックカバーやペンケースをPR。伝統の技に現代風のアレンジを加えた商品が並び、来場者の目を引いた。

越前漆器協同組合は独自のブースを設け8企業が出展。わんや盆といった伝統的な商品のほか、石灰石を使った新素材の漆器、蒔絵を施した腕時計やボトルなどを並べた。

「ギフト・ショー LIFE×DESIGN」は国内外の約600企業が出展。6日からは「ダイニングスタイル」「ビューティー」などをテーマにした関連展示会も開かれる。（五十嵐靖尚）